

平成 27 年度大田区訪問介護事業所連絡会と区との懇親会（議事録）

日 時 平成 27 年 6 月 24 日（水） 15：30 ～ 17：00

場 所 区役所HK-203 会議室

出席者一覧

※大田区担当者、訪問連出席者共に上座より下座へ順番に整列

大田区福祉部

介護保険課長	小泉 様
高齢福祉副参事	堀 様
介護保険課介護サービス担当係長	鈴木 様
介護保険課介護サービス担当	今野 様
介護保険課介護サービス担当	廣瀬 様
福祉管理課法人指導担当	後藤 様
介護保険課給付担当	星野 様
高齢福祉課総合事業担当係長	高橋 様
高齢福祉課総合事業担当係長	久保 様
高齢福祉課総合事業担当	向 様
高齢福祉課地域包括ケア推進担当係長	富田 様

大田区訪問介護事業所連絡会

会長	株式会社 カラーズ	田尻 久美子
運営委員	株式会社 SUNNY'S	町田 和雄（議事録）
協力員	社会福祉法人 池上長寿園	神山 慎一
副会長	株式会社 エンゼルケアアシスト城南	吉田 実
運営委員	株式会社 ケアメイト	牧 良子
協力員	NPO法人 たすけあい大田	鈴木 敦子
運営委員	医療法人財団 中島記念会	小野 歩
副会長	株式会社 ナイスケア	徳永 泰行
広報	東京海上日動ベターライフサービス 株式会社	山口 早由壬
副会長	株式会社 スマイルケア	大野 修
広報	株式会社 シーン	瀬尾 孝行
運営委員	株式会社 ホームケア井上	大井 学

## 1、介護保険課長挨拶

●介護保険課長 小泉 様

4月に大田区組織改正がございまして、介護事業者の担当が介護基盤担当課長から介護保険課長に担当が変わりました。

こういった場を設けて、大田区内の介護保険事業が適切に運営できるように、皆様方と情報交換ができればと思っております。

## 2、大田区訪問介護事業者連絡会会長挨拶

●株式会社 カラーズ 田尻 久美子

大田区訪問介護事業者連絡会の田尻です。本日はお忙しいところお集まり頂きまして有難うございます。

当連絡会は区内では一番新しい会となっています。今年で活動が6年目になっております。区内約100件の事業者が加入しています。サービス提供責任者を中心にサービスの質を高める研修など様々な活動を行っております。

これまでも大田区様と懇談の場を設けて頂きまして、今年度から初任者研修の助成や、家族介護者支援のサービス拡大など、事業者の声に耳を傾けて頂きましたことに感謝いたします。

来年から大田区もいよいよ総合支援事業が始まります。これからますます地域の実態に沿った支援が大切になっていきます。そういった意味では、大田区様とこれまで以上にこういった場を大切に増やしていかなければなりません。

在宅で生活されている高齢者の方々を下支えしているのはヘルパーです。生活者の声やニーズを、会を通じて発信していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 3、出席者自己紹介

## 4、法人指導担当からの報告について

平成26年度大田区実地指導（訪問介護事業所）結果について

●福祉管理課法人指導担当 後藤 様

昨年度までは、介護保険課にて実地指導等の指導担当を行っておりましたが、本年度より福祉管理課にて管理指導を統括して行うようになりました。介護事業者の法人管理指導、社会福祉法人の管理指導を行っております。報告は資料を作成しておりますのでご参照ください。昨年度は、法人指導担当が回った訪問介護事業所は1か所のみです。本年度は11か所回る予定を立てています。訪問日程については、2週間程度の期間を設けて事前通知を致します。条例、法令に基づいた運営を行っているか指導し、適正なサービスまた質の高い事業経営を行っていただけるように指導していきたいと思っております。

## 5、大田区 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について

●高齢福祉課総合事業担当 久保 様

今回の介護保険法改正に伴った大田区で展開していく総合事業の概要を資料にまとめておりますのでご確認下さい。

現在大田区在住の高齢者人口において後期高齢者の割合は 47%で、人口に直しますと 7 万 5 千人、10 年後の 2025 年には、58%、9 万 7 千人へ増加する試算が出ております。

要介護者が増加する一方である高齢社会対策の狙い

◎総合事業の活用により要介護者の抑制

◎不足するであろう介護事業の質の維持や人材確保などの問題点を解消

◎更なる介護予防、生活支援の充実

◎地域住人主体で支えあうために、シニアボランティアの育成

大田区の総合事業の移行は、平成 28 年度より開始する予定です。現行サービス事業者が円滑に総合事業に移行できるように考えております。また、現在区で行っている一般介護予防事業の更なる充実を考えております。シニアボランティアを育成し、不足する介護人材の確保を行います。区の社会資源をフル活用して効率的に事業を展開する努力をしていきます。

地域包括センターと老人いこいの家の機能を合わせ、シニアステーションを構築し 2025 年までに展開していく予定です。

## 6、議題（訪問連より質疑応答、資料有）

●社会福祉法人 池上長寿園 神山 慎一

質 1 〉 介護予防・日常生活支援総合事業および地域包括ケアシステムについて

(1) 地域包括ケアシステムの全体像については、添付資料 A 3 に記載しております。総合事業を単なる予防給付の付け替えとしてではなく総合事業を行っていくことで、介護予防を図っていく計画であります。

高齢者が住み慣れた町で安心して暮らせる町づくりを目指しています。

(2) 区民説明会で総合支援事業の説明を区民に行うタイミングやアプローチが重要ではありますが、区で説明会日程の周知を行っても当日にお越し頂く住民が非常に少ないので、方法を模索している。

介護事業者への説明については各連絡会を通して説明していきます。

(3) シルバー人材センターについては協議中のところではありますが、全国組織であってシステム構築について全面的に協力する方針です。連合からも人材強化などについても積極的に動いていきます。

(4) 地域ケア会議、協議等については、個別様々な課題が出てくると思います。

個別レベル会議で解決できない場合は、地域の課題として日常生活圏域レベル会

議を、七月から各地域の地域福祉課主催で開いていきます。  
課題を抽出するコア会議を主催し、解決すべき題材を見つけ出します。課題が絞れたら、テーマ別会議を開き専門職を集い更に密に解決方法を見出します。

質2 〉 家族介護者支援ホームヘルプサービスについて

(1) 別紙添付資料にて回答を致しております。

質3 〉 大田区版Q&Aの発行について

ケア倶楽部のトピックスに一部の情報を公開しております。情報共有については、その都度情報公開していきたいと思えます。

『 その他の質疑応答事項 』

訪 山口 …… ホームヘルプサービスについてですが、予算がどの程度設けられ実際にどの程度使われたのでしょうか。

区 …… 詳細は不明。確認次第連絡会に報告いたします。

訪 徳永 …… 要配慮者の対応を大田区とする場合、どこに投げ掛ければ話が進んでいくのでしょうか。

区 …… 話の内容によって変わるのでまずは中身をまとめて持って来て下さい。

訪 田尻 …… 8月から2割負担に切り替わる際に、契約書等の書類についての質問が殺到すると思えますので、30日の事業者説明会でアナウンスしてください。

区 …… 了解しました。